

## 先週のマーケット動向(1月9日～1月13日)

為替、株式

|         | Open     | High     | Low      | Close    | Chg    |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,255.0  | 1,255.0  | 1,234.5  | 1,241.3  | ▲27.3  |
| JPY/KRW | 9.5061   | 9.6436   | 9.3857   | 9.6285   | +0.166 |
| KOSPI   | 2,315.87 | 2,397.01 | 2,312.56 | 2,386.09 | +96.12 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は週初に大きく下落した。先週末に12月ISMサービス業PMI(結果:49.6、予想:55.0)が非常に軟調な結果になったことに端を発する米金利の大幅低下を受けて9日のドル/ウォンは1,253.0にてオープンし、それが週高値となった。日中には外国人投資家による韓国株買いが入る中、ドル/ウォンの上値は重い一方で、相応に調整が進んだとの警戒感もあり、下値も固い印象。12日海外時間には米12月CPIが前月より鈍化していることが市場で好感され、米金利が10bp以上の低下となるものの、ドル/ウォンのNDF市場への影響は限定的となった。13日にはBOKが政策金利を引き上げ(3.25%→3.50%)を行うも、こちらも反応は限定的。結局、先週対比27.3ウォン下落した1,241.3ウォンにてクローズ。

## 今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅く反発する展開を予想する。米金利の低下を素直に好感した他、年初の外国人投資家による韓国株買いを受けて下落してきたドル/ウォンも調整が相応に進んだとの見方が広がる中、下値が固くなりつつある。韓国ではマンションを担保資産とした大型ABSの償還について注目されるなど、資金市場への不透明感があることに加え、韓国の貿易収支が赤字であることを鑑みると、ドル買い相場の調整としてドル/ウォンが下落することはあっても、市場が積極的にウォン買いを行うことは考えにくいのではなかろうか。かかる状況下、ドル/ウォンは徐々に下値を固める展開を予想する。

予想レンジ

| USD/KRW     | JPY/KRW     | USD/JPY       |
|-------------|-------------|---------------|
| 1235 ~ 1265 | 9.60 ~ 9.90 | 126.0 ~ 129.0 |

\* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



\* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 17日(火) 中 12月 鉱工業生産  
中 12月 小売売上高  
中 4Q GDP  
米 1月 NY連銀製造業指数
- 18日(水) 日 11月 鉱工業指数 確報値  
日 BOJ 政策金利発表  
日 11月 機械受注  
米 12月 小売売上高  
米 12月 鉱工業生産  
欧 12月 CPI 確報値  
米 12月 PPI
- 19日(木) 米 12月 住宅着工件数  
日 12月 貿易統計
- 20日(金) 米 12月 中古住宅販売件数  
日 12月 CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。